



HABITAT まちづくり通信 Vol.13



国連ハビタット・アジア太平洋事務所 10周年記念特集号

世界ハビタット・デー2007 国際シンポジウム 「アジア太平洋における安全・安心なまちづくり」

2007年10月1日アクロス福岡4F 国際会議場にて国際シンポジウムが開催されました。ハビタットアジア太平洋事務所が抱える安全・安心なまちづくりのための具体的な問題や取組み等の紹介を、学識経験者等による議論を通じてディスカッションが進められました。パネリストの中には2004年のスマトラ沖地震津波で被災した際に設立されたスリランカのふくおか村から、コミュニティ開発委員長のマイカル氏が来福して震災後の事例等を述べ、「日本の皆さんのおかげで、世界一安全な村ができた」と観衆に伝えました。



10月1日～7日迄、アクロス福岡1Fアトリウム＆コミュニケーションエリアで国際連合主催の「人がらしく生きるために～『人間の安全保障』」の写真展が開催されました。ニューヨーク本部で開催後、東京、福岡、神戸、広島、札幌と日本を巡回する写真展となり、福岡会場のオープニングセレモニーでは、国連広報センター 幸田所長、マリ親善大使、国連ハビタット・アジア太平洋事務所 野田所長によるテープカットが行なわれ、開催中、沢山の方にご覧いただきました。

公開フォーラム ～どうやって守る？安全・安心な「まち」～

10月22日アクロス福岡1F円形ホールで、公開フォーラム「どうやって守る？安全・安心な『まち』」が開催されました。安心・安全なまちを目指して、実際に活動を実施している北九州市小倉南消防団女性団員による人形劇や（特活）日本ガーディアンエンジエルズ、こどもCAPふくおか、WE LOVE 天神協議会が事例を紹介。様々な角度から「実際にどう“安全で安心できるまちづくり”を意識すればいいのか？」という市民レベルでの学びの場となりました。会場では、ノベルティグッズとして、パナソニックコミュニケーションズ株からご寄付として頂戴した防犯・防災にも使える携帯ライトが配布され、「身近にできる危機管理」をアピールしました。

資料提供国連ハビタット・アジア太平洋事務所

国連ハビタットアジア太平洋地域事務所が福岡に開設されて今年で10周年を迎めました。この10年、アフガニスタン、イラクでの紛争、インド洋津波、パキスタン、ジャワ島での地震と、大きな紛争や災害が度重なり、日本全国の方々から、募金や励ましをお寄せいただきましたことを心から感謝申し上げます。

現在、世界では急激な都市化が人々の生活を脅かしています。2020年には、世界人口の約56%が都市に住むと見込まれています。特に、発展途上国でこの傾向が顕著です。もとより、インフラが整っていないところに、急激に人口が増加するため、安心・安全な住居や水の確保等が難しく、劣悪な状況下での生活を余儀なくされています。

今年の世界ハビタット・デーは「安全・安心な都市を目指して」というテーマで開催されました。「安全・安心なまち」に必要なものとは何でしょうか？私は何よりも重要なものは「人々が互いに思いやり、共に生活を営み、きずなを深め合う」という信頼関係の強化だと思います。かつて、日本は“安全なまち”的名詞のような存在と言われていました。しかし、今では、インターネット等技術の進歩が人間関係を希薄にし、毎日心の痛むような事件・事故が報道され、“安全なまち日本”は失われつつあるように思われます。インフラが整っている私たちの周りからも“安全・安心”が失われつつある現代、国連ハビタットの提唱する「コミュニティの強化」はすべての人々にとって大変重要な課題であり、その実現に向けて私も邁進していく

国連ハビタット親善大使 マリ・クリスティーヌ



活動報告＊写真館



7月28日 パナソニック主催によるチャリティコンサートでは、沢山のご寄付を頂戴いたしました。

ワイワイと楽しく和やかな中、開催される東京本部ボランティアデーの様子。



8月8日 国際ソロブチミスト主催のユースフォーラムではTシャツ募金を頂戴し、コイン分けも実施された。

8月14日 あおぞら銀行メイン支店によるソフトバンクホークス戦にてのブース展示の様子。

habitat habitat

会費納入をお願い致します

日本ハビタット協会は設立以来、皆様の御支援により、様々な活動を展開することが出来ました。皆様からのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。引き続き、新たな活動を展開するためにも皆様に会費の納入をお願い致します。

郵便振替：00150-2-17590 日本ハビタット協会

個人会員 3,000円 法人会員 30,000円

habitat habitat

『紛争・災害後のまちづくり』ご協力下さい

国連ハビタットは、人の幸せの基本である「まちづくり」を様々な角度から考え、世界中の達成で安心して毎日が送れるよう、居住環境をサポートしています。「人の幸せをささえる“まちづくり”」に皆様からの御協力を宜しくお願い致します。

●郵便振替 01790-1-107035

日本ハビタット協会・まちづくり基金口

●みずほ銀行 麻町支店 普通口座

2108468 日本ハビタット協会

●あおぞら銀行 本店 普通口座

6753952-001 特定非営利活動法人日本ハビタット協会

habitat habitat

募金箱をお持ちの皆様

いつもご協力有難うございます。現在お手持ちの募金箱に募金がございましたら、是非一度、下記口座へお振込み下さいますようお願い申し上げます。

habitat habitat

三匹のこぶたとハビタット

“ハビタットのまちづくり”を子ども達にもわかりやすく理解してもらうために、「三匹のこぶた」をモチーフにした10分程度の手作りアニメを作りました。学校等での国際理解教育の一環として利用されてみませんか？詳しいお問合せは、日本ハビタット協会・福岡支部（佐伯）までご連絡ください。



書き損じハガキ・切手ございませんか？

例えば、書き損じハガキ1,110枚で、アフガニスタンに家を一軒建てることができ、2,220枚で井戸を一本掘ることができます。不用ないハガキや切手（使用済みでないもの）がございましたら「スマイルカード係り」迄お寄せ下さい。ハガキ、切手が沢山の人達への大きな笑顔に役立てられます。

※ 下記住所の「スマイルカード係り」。



募金箱設置に、ご協力いただけませんか？

かけがえのない家族も、生きがいを感じる毎日も、楽しみな未来も「まち」という舞台の上にあります。皆様も、国連ハビタット募金キャンペーンを通じて協力して下さい。

“まち”的復興の協力してみませんか？募金箱設置にご協力いただける方を、大募集しています。詳細は下記の「募金箱係り」まで、ご連絡くださいますようお願いいたします！

発行 特定非営利活動法人 日本ハビタット協会

（発行責任 マリ・クリスティーヌ・編集責任 佐伯恵美）2007年11月発行
〒102-0083 東京都千代田区麹町1-12 ふくおか会館1階

TEL 03-3512-0355 e-mail: info@habitat.or.jp http://www.habitat.or.jp
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡5階

TEL 092-724-7121 email: fukuoka@habitat.or.jp

10周年記念イベント「アジア都市ジャーナリスト会議」「Habitat JAM」「国際専門家会議」の開催

2007年8月1日に、アクロス福岡国際会議場にて、10周年記念イベントの一環で「アジア・都市ジャーナリスト会議」が開催されました。この会議では、国連ハビタット職員、自治体、民間企業、大学関係者、アジア・太平洋都市サミット参加都市のジャーナリストが参加し、ディスカッションが行なわれました。福岡におけるこの様な会議は、画期的なもので、地元新聞等では大々的に特集が組まれました。また、同日、同ビルの円形ホールにて「Habitat JAM」と題し、ハビタットと地元ラジオ局Love・FMによる10周年を記念する公開音楽イベントが開催されました。



韓国のSumMinさん、九州出身の東田ともひろ氏、岡部涼輔氏によるライブ&トークショーが展開され、集まった観客は魅了され感動的イベントになりました。9月4日には国際専門家会議「国連ハビタット・アジア太平洋事務所10年～過去、現在そして未来～」が開催されました。

(資料提供：国連ハビタット・アジア太平洋事務所)

「2007年絵画テーマ：安全・安心な“まち”を目指して」

今年の世界ハビタットデー・記念絵画コンクールでは、アジア太平洋地域11カ国から約800点もの絵画が寄せられました。(小学校4年生～6年生対象) 寄せられた作品は、国連ハビタット・アジア太平洋事務所の厳正な審査のもと、各受賞者が決定します。特に、今年は「安全・安心な“まち”をめざして」というテーマのもと作文にも審査の注目が集まりました。日本ハビタット協会受賞者は下記の3名で、今年の絵画コンクール優秀作品展は、アクロス福岡3F こくさいひろばにて2007年10月19日～11月5日まで開催されました。会場に来られた方々は、展示されている各国画風に大変興味を持ってご覧下さいました。(他の受賞作品は、国連ハビタット・アジア太平洋事務所のURL：<http://www.fukuoka.unhabitat.org>でご覧いただけます。)



Aishath Uraiba Asifさん
モルディブ(6年生)



Sadia Sultana Tasnimさん
バングラデシュ(5年生)



井上 悠さん
日本(6年生)

カレンダー募金で国際協力



~1口 1000円の募金でもれなく カレンダー差し上げます。~

日本ハビタット協会は、世界ハビタットデー記念絵画コンクールの優秀作品で構成された「ハビタット・カレンダー2008」を製作し、1口1000円の募金でカレンダーを、もれなく進呈いたします。今年のカレンダーは世界ハビタットデー記念絵画コンクール「安全・安心な“まち”をめざして」

の優秀作品で構成されています。これらの収益は、国連ハビタットのアジア太平洋における紛争・災害後のまちづくり・再建復興事業として使用させていただきます。(今年のカレンダーは、卓上式で絵画部分が、ポストカードになります!) カレンダー募金のお申込・お問合せは、最終ページの連絡先(福岡支部)にお願い致します。



サイズ：タテ 19cmヨコ 16cm
卓上式 ムカシリ タイプ

アフガニスタンへの送金報告



2007年春、アフガニスタン東部のカ比サ県(首都カ布尔の東隣の州)で洪水が発生しました。堤防が整っていないため、土砂に加え、川からの大きな石が村に流れ込み、農地や果樹園に被害を及ぼしました。今後もこのような洪水が繰り返し起こる可能性があるため、国連ハビタットのアフガニスタン事務所から、緊急に堤防を建設したいと協力要請がありました。この事業は Jurghal 村の Nejrab 川沿いに140メートルの堤防を築き、それによってこの村152世帯の家族と760頭の家畜、約8,000本の果樹やその他の樹木、約40万平方メートルの農地が被害を免れることになるというものです。



日本ハビタット協会では2006年度のカレンダーに寄せられた募金と、一般募金から1,905,060円をこの事業に充てることを決定し8月22日に送金しました。工期は約2ヶ月です。この地域の方々が安心して、安全に毎日を暮らすことができる日々を待ち望んでいます。

(資料提供：国連ハビタット・アジア太平洋事務所)

スリランカ・ふくおか村の近況は今。

～ハビタット福岡市民の会代表 卸田氏よりご報告～



国連ハビタットの支援団体のひとつである、ハビタット福岡市民の会の代表を務める卸田氏を含む数名が9月にスリランカのふくおか村を訪問されました。初めての福岡市民が来るという事もあり村の人達に歓待を受けられたそうです。

まだ排水等の問題等は抱えているそうですが住民達は震災後の現在の状況に改めて感謝し笑顔を絶やさなかったそうです。



地球市民どんたく2007 IN 福岡



今年のどんたく開催日となつた9月13日～17日は福岡では、記録的な猛暑日が続きましたが、平日は小学生約2000名が社会科學習の一環で会場を訪れました。

グローバルフェスタ2007



10月6・7日国内最大級の国際協力イベントが爽やかな秋風の中開催され、いつも東京本部を支えて下さるボランティアの皆様と国連ハビタットのブースのお手伝いをしました。

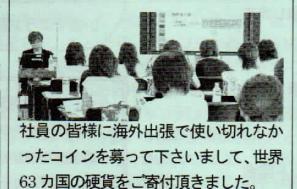
*国際理解学習～コインを通して世界を見る～

空港の募金箱に寄附された世界中のコインを、紙幣に換え日本円に換金するために、国ごとに仕分けるボランティアを通じて、国連ハビタットの活動の活動を理解して頂きながら、国際理解の重要性・国際協力の意義を考え、自分たちの暮らしを振り返ってみる国際理解学習は、年齢を問わず、多くの皆様にご好評頂きました。

◆5月9日 内灘町立内灘中学校の皆様
安全で安心な暮らしとは具体的にどのような暮らししか、世界中の人々が安心に暮らすために私たちが出来ることは何なのか一緒に考えました。



◆6月28日 日本郵船(株)の社員様
社員の皆様に海外出張で使い切れないコインを募って下さいまして、世界63カ国の大貨をご寄付頂きました。



◆8月28日 優秀賞作品受賞者のお2人
富山県ひとづくり財団の「夢の卵」育成事業にて「国際協力の仕事をしたいという将来の夢」を作文にまとめ、優秀作品として表彰されたお2人は、真剣に耳を傾け、熱心に参加してくれました。

